

「中期財政計画」に関連して質問させていただきます。

この計画では、厳しい財政状況を細かく分析し、過去の問題点を洗い出し、具体的に数値目標を設定しており、今までに無いものになっていると感じました。

【下水道事業について】

計画の中の具体策として、「下水道特別会計への繰出金抑制」が掲げられていますが、数字上、下水道特別会計の将来公債費を8億円に目標設定し、各年度5.6億円以下に抑える様に計画されています。確かにこの考え方では、単純に将来の借入額抑制は出来ませんが、その分、下水道事業は、のびのびになると思います。下水道整備区域の方々と未整備区域の方々の生活環境の格差是正が進まないこととなります。また今後、下水処理事業における収入になる使用料の低迷、設備維持管理などランニングコスト、下水道管の老朽化による費用などで当初計画していたものから状況が変化し、収支のアンバランスが起きてくるのではないかと懸念するところです。

そこでまず、この市内における生活環境格差をどの様にお考えなのかをお聞かせ下さい。

●答弁（概要）

今後の事業の進捗には大きな影響が出ないように配慮している。また、国で下水道未普及地区解消の国庫補助事業対象枠が拡充されるので有効に活用し、公債費はある程度抑制できることから、今まで通り整備促進を図ることが可能である。

当初60年程度での完成を想定していたが、上流（北側）地区ほど整備が遅くなり、整備時期に違いが生じてくることには、ご理解を頂きたい。

●追求質問（概要）

代表質問の回答の中で下水道処理能力に余裕があるという回答をもらいましたが、下水道料金値上げを協議した資料では、処理施設の整備が計画に上がっていました。この矛盾は、何ですか。

●答弁（建設部長・概要）

現在の処理能力1日7,800立方メートル。現在最大5,920立方メートルで平成27年度までに整備すれば対応できる。（平成25年～27年に増設の計画）

●答弁（概要）

議会から指摘頂いている合併浄化槽などの活用といった宿題がある中で処理場増設にかかっていくことは出来ない。この宿題の結論を3月議会に示したいと思うのでご理解頂きたい。

●追求質問（概要）

処理能力に余力があることを前提に竹内工業団地の北側にも下水道を伸ばすということは考えられないのか。企業誘致や雇用拡大などトータルの観点でお考えをお聞かせ下さい。

●答弁（概要）

工場からの排水には、除外設備を設けて一定の処理を行わないといけない、また、累進性の下水道料金になっているので工場については、コスト面で有効に

作用しないのが現状と考える。

●要望（概要）

今回の財政計画は、財政全体を見たマクロで見たもの。今後は、各部署のミクロで見たものを積み上げて、このマクロとミクロが整合性のある、実際の事業と計画の整合性のあるものにして頂きたい。

【勤務評定・給与システムについて】

職員・組合の皆様には、本12月議会にも議案上程されていますが、給与カットの延長にご理解頂いたことに敬意を表します。

さて、本題に入りますが中期財政計画の中で「平均給与単価の抑制」を目的に「勤務評定の本格導入、能力や実績に応じた給与システムや処遇」を行い、「適正な給与の分布としていきます。」とあります。

そこで市長お伺いいたしますが、現状の給与分布の問題点、またその要因は、どの様なところにあると分析しているのかをお聞かせください。

また次に勤務評定の本格導入とありますが、その勤務評定の方法、その評価結果をどの様な給与システムにしていくのか概要をお聞かせ下さい。

●答弁（概要）

50歳代後半の団塊世代が多いことから給与分布上の問題点があり、高度経済成長の昭和40年代に一時的に多くの職員採用を行った為。この様なことの無い様、中期職員採用計画を基本に職員の年齢構成の適正管理に努めている。

勤務評定の導入は平成17年度より試行的に実施しており、これまでの成果を踏まえて評定表や評価基準の見直しを行い、公正で納得性の高いものとなる様検討を深め、早急に導入出来る様、努めて行きたい。

給与システムについては、人事院勧告に基づく給与構造の改革が国・地方にも導入されており、この制度を適正に運用することが人件費の適正管理につながっていくものと考えている。

●追求質問（概要）

昇級は、級が上がらないと上がらない（評価がある）。号給は、定期的に上がる評価の無い仕組みになっていますがこの事について「評価」というものが導入出来ないものなのか、ご回答下さい。

●答弁（概要）

毎年1月1日時点で（平成17年度から）勤務評定を試行的に行って来ましたが、公平性・納得性など客観性を求められることで模索しながら続けているところです。なるべく早い時期に勤務評定が導入出来るように努めて行きたい。

●要望（概要）

今の給与システムは、「公平」というより「平等」。やった者が報われる給与システムを作って頂きたいと思います。

【関連質問を終えて・そして今後】

時間が少なかった。

議会の決め事で個人での質問（各個質問）の場合は、30分。会派での代表質問は、60分間と決めている。

現在、当会派は、8名の大所帯になっているので、代表質問の場合に3名で行うことが多い、すると一人の持ち時間がすごく少なくなってしまう。また、代表質問をすると残りの5名は、各個質問を行えなくなってしまう。この様な大所帯を想定していなかったなので、見直しが必要である。